



冬でもボリュームある果実になりました ～ハイワイヤー栽培用「ナス高育交 15 号」～



図1 「ナス高育交 15 号」の果実

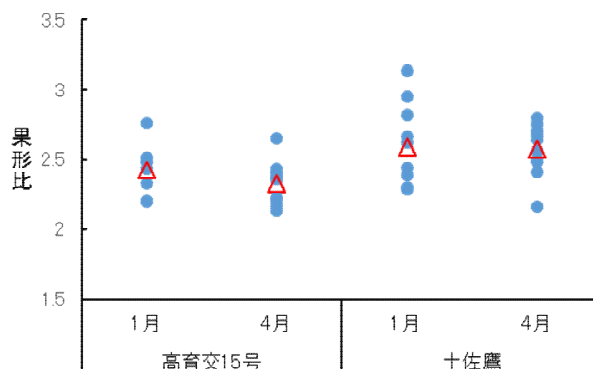
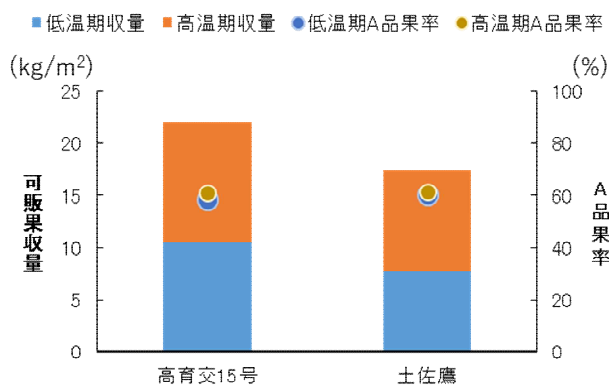
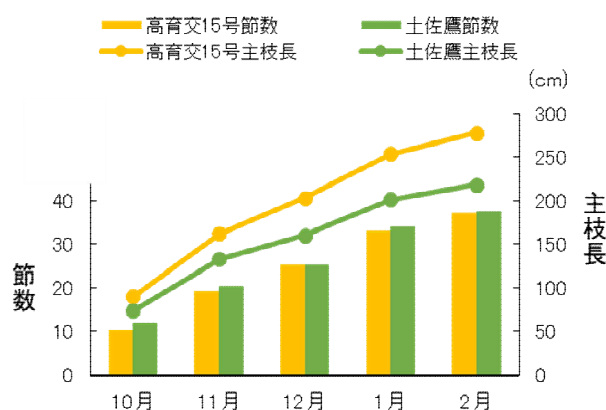
図2 収穫時期による果形比の違い
注) △は平均値図3 収穫時期によるA品果率と収量の違い
注) 低温期:12～3月、高温期:10～11月・4～5月

図4 主枝長と節数の増加

一般に、ナスは気温の低い時期には果実が細長くなりやすく、同じ規格でもボリューム感に欠けるため、太めの果形が好まれます。

高軒高ハウスでのハイワイヤー栽培用に当センターが新たに選抜した「ナス高育交 15号」(図1)は、気温の低い1月でも果形比(果実の縦横比)が小さい傾向があり(図2)、ハイワイヤー栽培の慣行品種「土佐鷹」に比べて果実のボリューム感が保たれると期待されました。低温期のA品果率はわずか

に低いものの、可販果収量はやや多くなりました(図3)。生育については、節数は同じでも主枝が早く伸びる(図4)など「土佐鷹」とは異なる性質がみられましたので、今後も調査を続けて特性の把握に努めます。

本研究は、内閣府地方大学・地域産業創生交付金「IoP」が導く「Next次世代型施設園芸農業」への進化の助成を受けて実施しました。(園芸育種担当 石井敬子・小笠原一真* 088-863-4916) *現須崎農振セ高南農改

高知県農業技術センターニュース 105号 令和3年10月1日

編集発行 高知県農業技術センター 所長 松村 和彦

農業技術センター

〒783-0023

南国市廿枝 1100

TEL (088) 863-4912

FAX (088) 863-4913

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

果樹試験場

〒780-8064

高知市朝倉丁 268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2013>

茶業試験場

〒781-1801

吾川郡仁淀川町森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2014>